

I. 基本方針

河合隼雄の知見を受け継ぎ、現代社会を生きる人々のところを豊かにし、日本文化の発展に寄与する事業を行う。以下の3つの事業を中心に学術・文化・芸術の発展に寄与する活動を推進する。

- (1) 「物語」という視点からみて学術・文化・芸術としてすぐれた作品に河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞を贈賞する。
- (2) 河合隼雄の著作や作品を財産として管理する。
- (3) 広く一般市民を対象として、文化・芸術の振興、日本文化の発展などを目的とした企画を実施する。

II. 事業内容

1. 贈賞事業

[河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞選考会と授賞式の企画・運営]

第三回河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞について、2015年5月11日に選考会を開催し授賞作を決定、2015年7月3日に授賞式を開催するという計画に基づき、選考会および授賞式の企画・運営を進め、選考と顕彰を行う。また2016年の第四回に向けて、候補作の絞り込み作業を財団内で進めていく。

2. 知的財産管理

[河合隼雄の著作権管理]

河合隼雄の著作権について、昨期に引き続き、著作権者河合嘉代子の委託により管理を行う。

[作品・データの整理]

論文やコラム、新聞記事など様々な形式で残っている河合隼雄の作品を、公刊・発表に向けて収集・整理し、リストを作成、カテゴリー分類などを行い、アーカイブ化する作業を、昨期に引き続き進める。今年度は特に箱庭作品など、スライドの形で残されたものをデータ化し、アーカイブにする作業を進める。

[財団ホームページの整備]

財団のホームページの英語ページを作成し、国際的にも財団の活動を発信していく。ソーシャルネットワークサービス等を活用し、ウェブにより発信する内容の充実を図る。

3. 文化事業

[財団主催イベントの開催]

財団のコンセプトである「物語」をキーワードに、学術・文化・芸術の発展に寄与するイベントを第三回河合隼雄物語賞・学芸賞記念講演会として実施する。

[出版・翻訳支援]

河合隼雄のすぐれた論文・論考をまとめた『新版心理療法論考2』の出版に向けて企画・編集を進める。

また、『村上春樹、河合隼雄に会いに行く』の英訳出版にあたり、村上春樹氏との交渉を昨期に引き続き進めるとともに、必要なサンプル英訳作成やプロモーションのための支援を行う。

[その他]

生前の河合隼雄と関連のあった文化人との共同企画や、河合隼雄の作品を異なる媒体や手法により表現する企画を他団体と共同で行う。

Ⅲ. 資金計画

[財産運用について]

財産運用規定に則り、運用を行う。

[寄附について]

昨期に開設した寄附口座において、寄附金を募る。

以上。